

放射能対策・耐震助成・節電対策でも 区政をリード

日本共産党区議団が奮闘

**日本共産党
葛飾区議団だより**

発行 日本共産党
葛飾区議会議員団
3695-1111(内2821)
責任者 濱川ひとし

日本共産党区議団の
ホームページをごら
んください。

<http://www.cpi-media.co.jp/jcp-katusika/>

第二回定例議会終わる

六月十三日より二九日の会
期で、第二回定例区議会が開
かれました。

今議会は三月十一日の震災
を受け、区の防災施策をどの
ように改善するのか、福島第
一原発の事故による放射能
の影響から、区民の健康をど
う守るのか、大変重要な議
論の場となりました。

今議会で特徴的なことのひ
とは、今まで日本共産党区
議団が求めても区が応じよう
としなかった、区内の旧耐震
基準の住宅に対する耐震診断
や耐震補強に対しての抜本的
な助成、自然エネルギーへの
転換のための施策などを区が
大幅に認め、改善したこと



6月2日、区長に放射能対策を申し入れる日本共産党区議団

日本共産党区議団は、す
でに中村、三小田、渡辺議員が
ボランティアとして宮城県の
石巻市で活動し、中江、おり
かさ議員も八月に被災地に行
く計画になっています。
ボランティアに行った感想
を三小田准一区議は、次のよ
うに述べています。
「七月三日〜四日に石巻市
に渡辺キヨ子区議や地域のみ
なさんと九人でボランティア
に行きました。
地域の八百屋さんからの玉
ねぎ二〇キをはじめ、お米な

被災地復興へ全力

全区議がボランティアとして被災地へ

どたくさんの救援物資のご協
力いただき、車一台は物資で
いっぱいになりました。



参加したみなさんと現地で

港に近い所で泥かきの作業
をしました。二〇m程度の
側溝の中には津波で流されて
きたヘドロと一緒に腐った魚
もまだ残っていました。
泥かき一つとっても行政の
支援だけではまったく追いつ
かず人手が足りないことが実
感できます。作業をした自宅
の庭には津波に負けずくら
んぼの木に一粒の実がなっ
ていて、大変な被害の中でも生
きていく力強さをアピールし
ているようでした。」
継続的な支援が求められて
います。これからも現地の人
たちに心を寄せた支援を続け
ていきます。みなさんの温か
いご協力を日本共産党区議団
からもお願いいたします。

この請願は、原子力発電所
の新規計画を中止し、既存原
発の計画的な廃炉などを求め
ると同時に、省エネルギー・
自然エネルギーを中心に据え
たエネルギー政策への転換を
求めています。
日本共産党や無所属議員か
らは、この請願の主旨に賛同
し、採択すべき旨を主張しま
した。ところが、公明も、自
民も、民主も継続を主張し、
結局採択をするかどうかの賛
否をとりましたが、五対四で
採決をせずに継続審査扱いに
してしまいました。
葛飾から、国に対し「原発
はいらない」の意思表示をし
めすために、さらなる世論と
運動をご一緒にひろげていき
ましょう。

は、節電対策として家庭への
LED電球の買い入れへの助
成を行い、太陽光発電に対す
る家庭や区内事業者への助成
も大幅に増やしました。
いまだ色々な理由をつけ
て実行しようとしなかった区
が、この度の震災を経験し、
日本共産党区議団の主張を認
めざるを得なくなったといえ
ます。

日本共産党区議団は、震災
や放射能の問題で節目々で
区に申し入れをし、改善を求
めてきました。福島第一原発
の問題では、区内の全学校、
幼稚園、保育園などでの放射
線測定を申し入れ、実現させ
ました。さらに危険箇所を明
らかにし、必要ならば除染も
せよと求めています。
日本共産党区議団はこれか
ら原則的・先見的な提案で区
政をリードしていきます。



「原発はいらない」賛否が拮抗

公明・自民・民主が採択に賛をむけ継続に

七月十九日区議会総務委員
会で、区議会宛に提出されて
いる「脱原発を実現し、自然
エネルギー中心の社会をもと
める」意見書提出を求める請
願書が審議されました。



8月1日に行われた区と葛友会主催の平和の集い

値下がり分 6億円を税金で穴埋め 区が理科大へ将来用地を譲渡

七月十九日、区議会総務委員会が開かれました。その中で、東京理科大学が将来（二〇一八年三月までに）土地を購入する予定の約一万一千平米の内、約六千平米を先行取得し整備することが明らかとなりました。

整備が早くなるのはよいことですが、区は土地譲渡価格を平米当たり三四万五千円とし、これに利息分を加えた約二十三億五千万円で、理科大に譲渡すると報告しました。もともとこの土地は、大学を誘致するために区がURⅡ

都市再生機構から平米当たり四五万円で買った土地です。平米あたり三四万五千円で売ることになれば、総額で六億五千万円もの不足分を区が税金で穴埋めすることになります。

区は、大学誘致について、「区の持ち出しはない」と当初から言ってきました。しかし、これまでも大学の借り入れに対する五三億円の利子の肩代りをはじめ、必要のない

税金の支出を繰り返してきました。今回の土地譲渡をめぐる区の税金の使い方も、到底認められるものではありません。さらに、残りの約五千平米についても同様に「時価評価で」譲渡するとして区の税

国保料値上げに区民が怒り



四月におこなった国民健康保険の保険料の算定方式の変更に伴う値上げ。六月になって納付書が区民の手に届くなかで、大きな怒りの声が寄

金によるさらなる穴埋めを否定していません。大学誘致のため、いったいどこまで「思いやり予算」をふやすつもりなのか、でしょう。

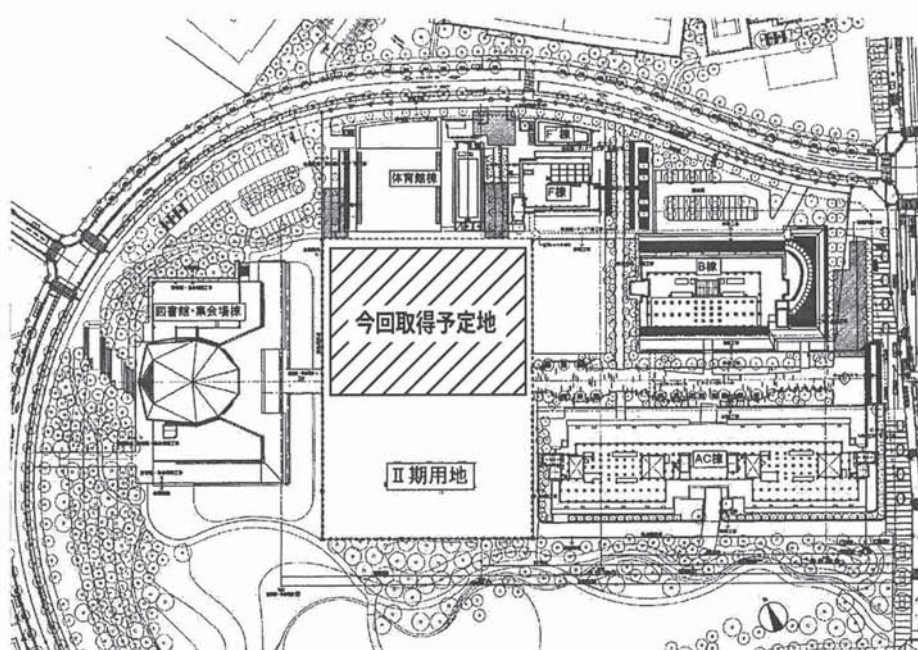
せられています。

西亀有四丁目のマンションにお住いのAさんは、「収入が減っているのに、何故保険料が上がるのか。お役所のやることは本当にひどいです。訳のわからない書類が来ていたので上がるのではないかと心配していたのですが、やっぱりそうでしたか。あんなものでは納得がいかない。きちんと説明してほしい。」と言っていました。

今回の値上げは、将来保険者（保険の主体者＝現在は区）を広域化するための地ならし。純粹に区の都合による値上げです。

影響の大きい人に二年間だけ行う経過措置だけでは不十分です。すべての人に影響が及ばないような減免措置を行うべきであると日本共産党区議団は主張しています。

影響の大きい人に二年間だけ行う経過措置だけでは不十分です。すべての人に影響が及ばないような減免措置を行うべきであると日本共産党区議団は主張しています。



今回区から理科大に譲渡される用地

教科書問題で区教委に申し入れ

今年八月に、新指導要領に基づき来年度から区立中学校で使われる教科書が、区教育委員会によって決められることになっています。国の検定を通った中にも、日本の憲法の原則を子どもたちに正しく伝えることができないような教科書があります。このような教科書をわが区の子どもたちに渡していいのかと、多くの区民が心配しています。日本共産党葛飾区議団は、七月十五日、区教育委員会に対し、平和と憲法を大事にする教科書をぜひ選んでほしいと申し入れを行いました。



無料生活法律相談

区内で週に1回の割合で無料生活法律相談を行います。震災についても相談下さい。（事前に連絡をお願いします）



党都政対策委員長
和泉なおみ 杜陵事務所
03-3697-2101

第二金曜日
仙波みのる 地域
080-3751-17806

第二金曜日
おりかさ明美 区議
090-13524-16719

第一水曜日
渡辺キヨ子 区議
080-6700-5960

第四水曜日
中江秀夫 区議
090-12176-15756

第一木曜日
三小田准一 区議
090-8040-11181

第三水曜日
中村しんご 区議
090-8686-12671